

第4期幡多地域アクションプランの 進捗状況確認資料

幡 多 地 域 本 部

令和4年7月6日（水）

幡多地域アクションプランの進捗状況等

R4. 7. 6

幡多地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度の実施状況と令和4年度の展開（総括）

(1) 総評

幡多地域においては、全44項目のアクションプランについて、関係機関による協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標達成に向け取り組みを進めている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、観光をはじめとする各分野の取り組みにおいて、大きな影響を受けた。

3年ぶりに行動制限のなかった先のゴールデンウィークでは、県内各地も多くの人で賑わうなど徐々に感染拡大前の活気が戻りつつあり、今後は感染状況や国の動向を踏まえつつ、地域経済の正常化を目指して取り組んでいく。

農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘類の作付面積の拡大とブランド化、青果や加工品の販売拡大を目指し、官民協働の取り組みを進めており、宿毛市では、文旦や直七、イチゴのブランド化や新たな加工製品の開発などを旨す地域産業クラスターの形成を図っている。

また、畜産関係では、西土佐地域の事業者で構成する「西土佐地域産業振興推進協議会」が主体となり、「四万十牛」を活用した食事メニューの提供や、「しまんとリバーベキュープロジェクト」と連携した取り組みにより、交流人口の増加、産業振興の取り組みを進めている。

水産業分野では、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の加工品を中心に、外商活動による販路拡大に取り組んでいるほか、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった、地域の資源を活かした地域産業クラスターの形成を目指す取り組みを進めている。

令和3年度には、土佐清水市で宗田節を原材料とした「スープブロス」の製造ラインが完成し、販路開拓に向け全国的な取り組みを行っている。

商工業分野では、土佐三原どぶろく合同会社が製造・販売する「甘酒」は、令和3年度の高知県地場産業大賞を受賞するなど知名度を高めており、「どぶろく」とともに村を代表する地域産品に成長した。

また、天日塩の需要が高まる中、生産が追いついていない状況が続いていることから、黒潮町内で事業を営む複数の事業者が、施設を増改築して生産の拡大に取り組む準備を進めている。

観光分野においては、幡多地域には、柏島や四万十川、昨年9月に認定された土佐清水ジオパークなど、自然・体験型観光の資源が数多くあり、観光プランの造成、磨き上げに取り組んできた。

今後は、インバウンドの受入再開や、来年予定されている連続テレビ小説「らんまん」の放送という機会を活かしながら、これまで磨き上げてきた自然、食、歴史といった地域の魅力を積極的に発信し、観光をはじめとする様々な分野において、コロナ禍からの回復に向け取り組んでいく。

本年度の地域アクションプラン数は、昨年度と同様の全44項目であり、引き続き実行支援チームを編成し、市町村や関係機関等と連携し、それぞれの目標達成に向け取り組みを更に進めていく。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※進捗状況の基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
農業	2 土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・(株)足摺農園 ・土佐清水市	あしずりキング 生産羽数 1,950羽 (H30)	2,400羽	2,485羽	5,040羽	7,438羽	1 流通・販売の拡大 ・市内での「あしずりキング」のブランド化推進 ・卸事業者と連携した県外向け販売強化 ・インターネットを活用した販売の開始 ・商談会への出展による販売の強化 2 生産(肥育)体制の向上 ・肥育ノウハウの蓄積 3 加工処理体制の強化 ・県版HACCP旧第2ステージ認証取得	1 流通・販売の拡大 ・商談会への参加 高知県産品商談会など 計2回 ・県外事業者との取引休止(2月～)への対応 作業部会等による関係者協議(計3回) 新たな事業者との交渉 2 生産(肥育)体制の向上 ・肥育マニュアルの作成、技術的支援の継続 3 加工処理体制の強化 ・コロナ禍における経営改善を優先したため、HACCP対応は延期	1,952羽 (R3.4月～R4.3月) ・R3目標達成率:38.7% ・対前年比:78.6%	D	(成果) ・卸事業者の取引再開に向け、介護食事業者と商談中 (課題) ・販路拡大、確保 ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・市、卸事業者と連携した営業活動の強化 ・卸事業者の在庫削減、取引再開 ・新たな品種(赤鶏)の販売支援 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得	7,438羽	1 流通・販売の拡大 ・営業活動の強化・販路拡大 県内外の商談会に出展 ・卸事業者との取引再開に向けた協議 卸事業者の在庫削減 ・商談会等への参加により赤鶏の販売強化 2 生産(肥育)体制の向上 ・肥育マニュアル、赤鶏飼育についての指導 3 加工処理体制の強化 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得
			あしずりキング 加工出荷額 519万円 (H30)	1,121万円	1,361万円	2,286万円	3,375万円	1,083万円 (R3.4月～R4.3月) ・R3目標達成率:47.4% ・対前年比:79.6% ※コロナ禍による卸事業者との取引休止(2月～)	D			3,375万円	
農業	6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト (宿毛市) 【実施主体】 ◎・宿毛市 ◎・(一社)スタートアグリカルチャーすくも ・JA高知県(幡多地区) ・(一社)宿毛市観光協会 ・他関連事業者 ※地域産業クラスター関連(宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト)	イチゴ生産量 48t (H30)	44t	50t	57t	63t	1 生産体制の強化 ・イチゴ農業研修生の確保及び研修 ・研修生等の用地(ハウス)の確保支援 ・健全苗の育成 ・文旦集出荷場の更新の検討 2 商品開発 ・新商品のコンセプト作り ・試作品づくり、市場調査、ターゲット選定 ・製造方法等の検討、商品化の実現 ・地域イベントの開催 ・観光農園の整備検討	1 生産体制の強化 ・就農相談イベントにオンライン参加 東京国際フォーラムほか 計4回 ・農業大学校生のインターン受け入れ 1人 ・研修生の用地(ハウス)の確保支援 ・文旦集出荷場の更新の検討 2 商品開発 ・新たな期間限定メニュー等の提供 イチゴを使ったスイーツを提供など 6店 ・「直七フェア」の開催 宿毛市内の喫茶店等で直七を使ったメニューを提供 7店 ・2軒のイチゴ生産者が観光農園を企画 新型コロナウイルスの影響により中止 ・イチゴ農家が「なりわいワイワイ塾」を受講 1者 ・フィンガーライムの出荷開始 高知県産品商談会に参加 ・宿毛市の「学生応援すくもふるさと便」の品物に直七加工品、だるま苺、文旦を採用	52t (R3.1月～12月) ・R3目標達成率:91.2% ・対前年比:104.0%	B	(成果) ・研修生の独立就農 2名 ・新規研修生の採用 2名 (課題) ・公社卒業生への技術指導 ・フィンガータイム肥培管理技術の確立 ・地域イベントや商品開発におけるターゲットの明確化	57t	1 生産体制の強化 ・イチゴ農業研修生の確保及び研修の継続 新規研修生の受け入れ 1名 ・研修生等の用地(ハウス)の確保支援 ・公社卒業生への技術面でのフォローアップ ・健全苗の育成 ・フィンガータイム肥培管理技術の向上 ・文旦圃場整備候補地の検討 ・文旦集出荷場の選果機の単純更新
			イチゴ生産者戸数 9戸 (H30)	10戸	10戸	13戸	15戸	13戸 ・R3目標達成率:100.0% ・対前年比:130.0%	A			(今後の方向性) ・公社卒業生への継続指導・助言 ・フィンガータイム栽培ノウハウの蓄積 ・地域イベントや商品開発におけるターゲットの精緻化	
			文旦栽培面積 90ha (H30)	90ha	90ha	96ha	96ha	90ha ・R3目標達成率:93.8% ・対前年比:100.0%	B	96ha			

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商工業	12 宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・直七生産(株) ・直七の里(株)	売上高 2,900 万円 (H30)	2,401 万円	2,967 万円	5,000 万円	9,400 万円	1 生産体制の強化 ・生産者に対する栽培技術の共有 ・選果機等、必要機材の検討 2 販路拡大 ・商談会等への参加 ・県内外への外商強化 ・商品開発	1 生産体制の強化 ・スタッフ増員 (R4.1月) ・説明会の実施 (1回) ・補助金等の情報収集 2 販路拡大 ・商談会等への出席 グルメ&ダイニングスタイルショー秋2021への出席 ・県内外大手スーパーマーケット、コンビニエンスストア、外食 関係事業者等への販促活動を継続 ・米国 (NY、LA) の日本料理店にサンプル送付 ・直七紹介アニメ動画制作・公開 (Youtube) ・都市圏でのインターネット広告配信(約5万回) ・「直七フェア」の開催 (再掲) 宿毛市内の喫茶店で直七を使ったメニューを提供 7店 ・宿毛市の「学生応援すくもふるさと便」の品物に直七加工品 採用 (再掲) ・新商品の開発 ボン酢 2品目 炭酸飲料 1品目 サワー 1品目	3,438万円 (R3.1月~12月) ・R3目標達成率: 68.8% ・対前年比: 115.9%	D	(成果) ・新商品の開発 4品目 ・栽培をやめる生産者の圃場を直七 生産 (株) で引き継ぎ (課題) ・コロナ禍による飲食店需要の減少 果汁の冷凍保管在庫増への対応 (今後の方向性) ・新たな取引先の獲得 ・青玉出荷及び体制確立の検討	5,000 万円	1 生産体制の強化 ・生産者に対する栽培技術の共有 ・選果機等、必要機材の検討 ・青玉出荷及び体制確立の検討 2 販路拡大 ・商談会等への参加 新規販売チャンネルへの出品準備 ・誘客促進キャンペーン「直七フェア」の開催 ・既存加工品の見直し
商工業	13 幡多地域における昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・(有)菱田ベーカリー	売上高 4,567 万円 (H30)	3,842 万円	3,849 万円	6,000 万円	9,000 万円	1 生産体制の強化 ・県版HACCP旧第3ステージ認証 取得 2 販路拡大 ・商談会・催事等への参加 3 新商品の開発 ・製造方法等の検討 ・試作品づくり ・商品化	1 生産体制の強化 ・講座の受講: 2件 食品安全マネジメント研修など 計2回 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得に向けた従業員教育 ・工場屋根の改修 (食品産業総合支援事業費補助金の活用) 2 販路拡大 ・商談会への参加 日本アクセス西日本春季フードコンベンションなど 計5回 ・各種イベント等への参加: 9回 観音寺パストリーなど 計9回 3 新商品の開発 ・「ヤキリンゴ」復刻販売 (10月) (産業振興アドバイザー (課題解決型) の活用)	5,076万円 (R3.4月~R4.3月) ・R3目標達成率: 84.6% ・対前年比: 131.9% ※商談会への参加等により 中四国・近畿のスーパー からの受注が増加	C	(成果) ・新商品の開発 1品目「ヤキリンゴ」 (課題) ・人材の確保 商品開発、衛生管理への対応 ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・少人数でも運用可能な衛生管理 システムの構築 ・県版HACCP新第2ステージ認証 取得	7,500 万円	1 生産体制の強化 ・人材の確保 ・効率的な衛生管理マニュアルの作成 ・従業員教育 ・県版HACCP新第2ステージ認証 取得 2 販路拡大 ・商談会・イベント等への参加 3 新商品の開発 ・高単価商品の開発
水産業	14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・土佐清水食品(株) ・土佐清水鯉節水産 加工協同組合 ・宗田節をもっと知って もらいたい委員会 ・土佐清水市 ※地域産業クラスター関 連 (土佐清水メジカ産業 クラスタープロジェクト)	土佐清水 食品(株) の売上高 18.5億円 (H30)	18.7 億円	18.9 億円	22.6 億円	23.6 億円	1 保管・加工施設の整備及び運営 ・共同加工施設の整備、残渣加工 施設、冷凍保管施設の円滑な 運営 2 スープロス を核とした、製造・販売 体制の確立 ・スープロスライン整備工事、衛生 管理強化施設整備 ・商談会等への参加 3 メジカ・宗田節の全国的なPR ・イベント等での宗田節のPR	1 保管・加工施設の整備及び運営 ・共同加工施設整備完了 (12月) ・共同加工施設の運用ルールの策定 ・残渣加工施設、冷凍保管施設の運営 (規模の小さな節納屋が利用) 2 スープロス を核とした、製造・販売体制の確立 ・スープロス ライン整備工事、衛生管理強化施設整備 完了 10月増産開始 10月新パッケージ、新商品の展開 ・商談会への参加 シーフードショー東京など 計6回 3 メジカ・宗田節の全国的なPR ・全国カツオまつりサミット、宗田節祭り開催 ・県外イベント等への参加 大丸須磨店高知県フェアなど 計2回	19.0億円 (R3.4月~R4.3月) ・R3目標達成率: 84.0% ・対前年比: 100.4%	C	(成果) ・共同加工施設の正式運用開始 (R4.4月~) ・スープロス 増産開始 (課題) ・原材料となる原魚の確保 ・共同利用施設の利用促進 ・スープロスの販路の拡大 ・土佐清水市民の宗田節利用促進 ・宗田節の全国的なPR (今後の方向性) ・冷凍保管施設等の利用促進による 原魚在庫の安定化 ・販促活動の強化 商談会への参加など ・宗田節の市民向けプロモーションの 展開 ・道の駅等を活用した情報発信	22.9 億円	1 保管・加工施設の整備及び運営 ・共同加工施設、残渣加工施設、冷凍 保管施設の円滑な運営 2 スープロス を核とした、製造・販売体制 の確立 ・首都圏等におけるフェアの開催 ・商談会等への参加 3 メジカ・宗田節の全国的なPR ・イベント等での宗田節のPR ・市内学校での食育の実施 ・道の駅等を活用した情報発信

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
商工業	18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・(有)ヤマア	売上高 1.9億円 (R元)	1.9億円	1.5億円	2.2億円	2.5億円	1 顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ・焼津式乾燥機等の整備 (12月) ・焼津式乾燥機等の施設整備 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 販売拡大・新商品の開発 ・既存商品のパッケージの見直し 3 雇用体制の強化 ・増産に伴う体制の構築、雇用強化	1 顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ・焼津式乾燥機等の整備 (12月) (産業振興推進総合支援事業費補助金の活用) ・県版HACCP新第2ステージ認証取得に向けた取組を継続 2 販売拡大・新商品の開発 ・既存商品のパッケージの見直し ・商談会への参加 旭食品フーズ2022などオンラインを含む計8件 3 雇用体制の強化 ・従業員募集を継続	1.5億円 (R3.7月～R4.5月) ・R3目標達成率：72.7% ※R3売上見込に基づく推計値 ・対前年同期比：106.1%	C	(成果) ・施設整備が完了し、稼働開始作業の効率化も実現 ・「ラーメンにのせる宗田節オイル」が高知家のうまいもの大賞優秀賞受賞 (課題) ・丸節の増産 ・原魚の確保 ・他魚の活用による安定した年間操業 (今後の方向性) ・4月以降本格的な増産に取り組む ・原魚の確保 ・小売商品の販売強化	2.4億円	1 顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ・小売商品の製造機器、冷凍保管設備の導入検討 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・水産加工業営業許可の取得への取組 2 販売拡大・新商品の開発 ・商談会への参加 ・経営に関するアドバイザーの活用 3 雇用体制の強化 ・増産に対応した人員の確保 外国人技能実習生2名受入(5月)
農業	20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化 (四万十市) 【実施主体】 ◎・(株)四万十牛本舗 ・西土佐中央牧場 ・地域事業者	売上高 1億9,000万円 (H30)	1億9,453万円	1億8,524万円	2億4,900万円	2億6,800万円	1 新たな加工販売施設の運営 ・HACCP取得による衛生管理体制の向上 2 商品開発及び販売促進 ・新商品の開発・加工品の製造拡大 ・販促活動 3 地元事業者との連携強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会の取組の強化 4 生産体制の強化 ・生産体制の強化 ・畜舎増設に向けた検討	1 新たな加工販売施設の運営 ・HACCP専門アドバイザーによる現場指導 2 商品開発及び販売促進 ・テイクアウト商品(弁当)の販売 ・ふるさと納税の販売強化 (特定部位商品ラインナップの増) ・商品開発等の取り組みの核となる社員の募集 3 地元事業者との連携強化 ・モニターツアー「半径3kmの旅」の企画・検討 (コロナ禍により開催延期) ・しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携 BBQジャンボリーしまんとの開催 4 生産体制の強化 ・畜舎増設に向けて県、市、JA等関係機関と協議	2億1,277万円 (R3.4月～R4.3月) ・R3目標達成率：80.8% ・対前年比：108.7%	C	(成果) ・コロナ禍により目標達成には至っていないが、顧客からの要望に応えるかたちで、ふるさと納税の取り組みを強化するなど、売上は回復傾向 (課題) ・衛生管理体制の向上 ・ブランド化に向けた取り組みの強化 ・社内体制強化 ・販路拡大 ・生産体制の強化 (今後の方向性) ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・アドバイザーの活用検討 ・地域事業者との連携強化 ・土佐MBA等の受講検討 ・畜舎増設に向けた連携体制構築の検討	2億6,800万円	1 新たな加工販売施設の運営 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 商品開発及び販売促進 ・新商品の開発・加工品の製造拡大(アドバイザーの活用検討) ・販促活動 店舗レイアウトや商品構成の改善(アドバイザーの活用) ・経理や営業等の業務分担見直し(社内体制の強化) 3 地元事業者との連携強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会への主体的な参画 ・モニターツアー「半径3kmの旅」の企画・検討 4 生産体制の強化 ・畜舎増設に向けた検討

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商 工 業	21 売れ出し西土佐プロジェクト推進（拠点ビジネス） （四万十市） 【実施主体】 ◎・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市	売上高 1億6,400 万円 (H30)	1億 6,969 万円	1億 4,604 万円	1億 6,900 万円	1億 7,300 万円	1 地域ならではの商品づくり及び販売促進 ・既存商品・サービスのブラッシュアップ ・地域産品を活用した新たな商品開発 ・地域の魅力の発信を通じた、地域内外での販売拡大 2 周辺施設等・商店街等との連携（地域拠点としての機能強化） ・地域観光拠点としての情報発信力の強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会の取組の強化	1 地域ならではの商品づくり及び販売促進 ・新商品「鮎のコンフィ缶詰」の完成 ・県外道の駅との物販交流 道の駅許田(沖縄県)など 計4カ所 ・イベントへの出店等 大街道商店街アーケードなど 計5カ所 2 周辺施設等・商店街等との連携(地域拠点としての機能強化) ・テナント店との連携 運営会議の開催（毎月） 情報誌「よすぎタイムス」の発行（毎月） 5周年祭、夏の感謝祭、冬の感謝祭 ・モニターツアー「半径 3km の旅」の企画・検討 (コロナ禍により開催延期) ・しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携 BBQ ジャンボリーしまんと	1億5,391万円 (R3.4月～R4.3月) ・R3目標達成率：91.1% ・対前年比：105.4%	B (成果) ・コロナ禍により目標達成には至っていないが、道の駅への入込客は増加 ・新商品「鮎のコンフィ缶詰」が完成、R4.4.10開催の道の駅6周年イベントで販売開始 (課題) ・売上の拡大 コロナ禍によるイベントの休止等 ・地域事業者との連携強化 西土佐地域産業振興推進協議会の運営強化 (今後の方向性) ・感染対策の徹底 ・地域事業者と連携した商品・イベント等の企画 ・西土佐地域産業振興推進協議会の運営を担う人材の育成	1億 7,100 万円	1 地域ならではの商品づくり及び販売促進 ・既存商品・サービスのブラッシュアップ ・地域産品を活用した新商品の販売促進 ・地域の魅力発信 ・地域内外での販売拡大 イベント等への参加 2 周辺施設等・商店街等との連携（地域拠点としての機能強化） ・地域観光拠点としての情報発信力の強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会による主体的な事業の企画・開催 ・基幹作物「米ナス」の認知度向上、地域活性化に向けた取組 ・モニターツアー「半径 3km の旅」 ・しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携 しまんとリバーベキューモニターツアー 他	
商 工 業	23 幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大 （四万十市） 【実施主体】 ◎・WAN LIFE	売上高 2,064 万円 (H30)	3,040 万円	3,522 万円	4,000 万円	6,000 万円	1 商品開発 ・ネコ関連商品及びイヌ用レトルト商品の開発 2 販促活動 ・自社通販サイト、ふるさと納税での販売継続 ・新施設整備の検討 ※施設内容：プール付ドッグラン、ペットホテル、カフェ、ペットフード販売を予定	1 商品開発 ・イヌ用レトルト商品を開発中 2 販促活動 ・自社通販サイト、ふるさと納税での販売を継続 ・新施設の整備 (県新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用)	4,526万円 (R3.1月～12月) ・R3目標達成率：113.2% ・対前年比：128.5% ※卸の売上増加と、プリーダ業の開始	S (成果) ・コロナ禍においても着実に業績拡大 ・ドッグラン オープン(R4.4月) (課題) ・商品開発 ・売上の増加 ・新施設での運営体制の確立 (今後の方向性) ・通販サイト等の品揃えの強化 ・従業員の雇用	5,000 万円	1 商品開発 ・イヌ用レトルト商品 ・イヌ用チルド商品 2 販促活動 ・自社通販サイト、ふるさと納税の販売強化 ・自社定期便システムの検討 3 生産体制の充実・強化 ・新施設での運営体制の構築 ・従業員の雇用 (正社員1名、土日バイト3名)	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】			
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画	
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析			
商 工 業	26 地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした 中心市街地の活性化 (四万十市) 【実施主体】 ◎・四万十市中心商店街活性化協議会 ◎・四万十にぎわい商店(株) ・四万十市	中心商店街エリア内の売上額	6億9,300万円	7億2,500万円	-	9億1,411万円	1 拠点施設の魅力向上と情報発信 ・にぎわい商店(株)取締役会の開催 ・公園スペースを活用したイベントの実施	1 拠点施設の魅力向上と情報発信 ・にぎわい商店(株)取締役会の開催(月1回) ・公園スペースを活用したイベントの実施(主催3件、持込2件)	7億400万円 (R3.1月～12月)	-	(成果) ・コロナ禍にも関わらず、四万十にぎわい商店の売上目標を達成(前年売上を上回る) ・商店街の通行者に、若年層が増えつつある(店主等の印象)	-	1 拠点施設の魅力向上と情報発信 ・にぎわい商店(株)取締役会の開催 ・公園スペースを活用したイベントの実施 季節ごとのイベント開催等 先進地視察	
		中心商店街エリア内の通行量	平日5,226人 休日4,036人 (H26～30平均)	平日5,607人 休日3,783人	平日5,824人 休日3,244人	-	平日6,005人 休日4,647人	2 中心市街地エリアへの経済波及促進 ・エリア情報の集約および情報発信基盤の整備 店舗の相互紹介サービスの実施 マップの作成 まちのポータルサイト作成 商店街広報誌の作成 ・中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり 「玉姫の会(四万十市商店街振興組合連合会女性部)」の取り組みの継続 まちあそび人生ゲームの開催 身内で商店街ツアー ・店舗新規参入の促進 チャレンジショップ事業の推進 チャレンジショップ事業運営会議	2 中心市街地エリアへの経済波及促進 ・エリア情報の集約および情報発信基盤の整備 商店街広報誌「はれのばプラス」発刊(2回) ・中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり 「玉姫の会」(商店が様々なサービスを提供)の継続 「玉姫様おまちLOILOIプロジェクト」の実施 身内で商店街ツアー 四万十市中心商店街活性化協議会の開催 ・店舗新規参入の促進 チャレンジショップ事業運営会議(月1回開催) チャレンジショップ入居状況 A区画 R2.11～R3.11 アパレルショップ R4.1～ 雑貨販売 C区画 R3.11～ 女性向けマッサージ	平日4,743人 休日2,954人	-	(課題) ・はれのばの知名度向上 ・中心市街地エリアへの集客促進 (今後の方向性) ・マルシェ等のイベントの定着化 ・情報発信の強化 ・商店街と連携した取組みの強化	-	2 中心市街地エリアへの経済波及促進 ・エリア情報の集約および情報発信の強化 商店街マップ、広報誌作成など ・中心商店街に人を呼び込む仕組みづくり 「玉姫の会」取り組みの継続など ・店舗新規参入の促進 チャレンジショップ事業の推進
		中心商店街エリア内の新規出店者数	2店舗 (H30)	6店舗	11店舗 (R元～R2)	-	8店舗 (R元～R5累計)			12店舗	-		-	
		売上額(四万十にぎわい商店(株))	-	1,763万円	1,832万円	1,861万円				1,973万円 (R3.4月～R4.3月)	A		1,847万円	
商 工	27 道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出 (大月町) 【実施主体】 ◎・(一財)大月町ふるさと振興公社 ◎・大月町 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	売上高	1億9,400万円 (H30)	2億700万円	2億443万円	2億3,600万円	2億5,000万円	1 地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 ・ギフトカタログ等での販売 ・地産地消・外商の推進 ・新商品開発・既存商品の磨き上げ	1 地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 ・ギフトカタログ等での販売 ・ひがしやま製造の機械化を検討 ・産直市の在庫の可視化(在庫状況のweb配信)を検証 ・産直市へのエアコン設置 ・受入体制の強化に向けたマニュアル化の検討	2億1,926万円 (R3.4月～R4.3月)	B	(成果) ・売上高が過去最高を記録 ・道の駅レジ通過者数300万人突破 (課題) ・産直市のさらなる販売強化 ・商品のPR強化やふるさと納税からのリピーターの獲得 ・来店者の満足度向上 (今後の方向性) ・在庫の可視化に関する機能の拡充及び取組の周知 ・通販サイトの移行や機能の拡充 ・スタッフへの研修及び接客マニュアル整備	2億4,000万円	1 地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 ・地産地消・外商の推進 ・新商品開発・既存商品の磨き上げ ・在庫の可視化に関する機能の拡充及び取組の周知 ・通販サイトの移行や機能の拡充 ・スタッフへの研修及び接客マニュアル整備 2 賑わいの創出 ・事業者等との連携によるイベント等の開催

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商工業	28 三原村のどぶろくによる地域活性化 (三原村) 【実施主体】 ◎・土佐三原どぶろく(同)	売上高 1,479 万円 (H30)	1,463 万円	1,284 万円	1,500 万円	1,900 万円	1 販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・新酒祭の開催(7月) ・HPの開設、SNSの運用強化 ・中筋川ダムとの連携 2 組織体制の強化 ・県版HACCP新第2ステージ認証 取得 ・どぶろく共同製造施設整備に向けた 社内協議	1 販売促進 ・イベントへの参加 どぶろく食堂in葛屋書店など 計7回 ・幡多商談会への参加 ・広報活動 さんしんGO!など 計4件 ・HP、SNS (Instagram) の開設 HP開設キャンペーンの実施 ・中筋川ダムとの連携 ダム最下層へのどぶろく貯蔵・蔵出し ・新商品 (パウチタイプの甘酒) 開発 (7月) 2 組織体制の強化 高知税務署を招いての酒税法に関する勉強会 消費税インボイス制度セミナーへの参加 機械設備視察	1,225万円 (R3.6月～R4.3月) ・R3目標達成率:98.1% ※R3売上見込に基づく 推計値 ・対前年同期比:109.7%	B	(成果) ・新商品の販売開始 ・高知県地場産業大賞奨励賞受賞 ・商談件数12件、成約件数2件 ・どぶろく共同加工施設の整備に 関する社内方針決定 →施設整備に向けた動きが加速 (課題) ・コロナ禍による販売促進活動の 縮小 ・どぶろく農家の高齢化 (今後の方向性) ・ネット販売の強化 ・共同製造施設の整備の加速 ・施設整備後は、県版HACCP新第 2ステージの認証取得を目指す	1,300 万円	1 販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・新酒祭の開催(9月) ・ECサイトの運用強化 ・中筋川ダムとの連携 どぶろくを貯蔵(6月) 2 組織体制の強化 ・どぶろく共同製造施設の整備 (国事業再構築補助金の活用) (6/9 採択) ・施設整備と並行したHACCP対応、 酒類製造免許の取得
商工業	30 黒潮町産天日海塩 を活用したビジネスの推 進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・(有)ソルティープ	売上高 2,195 万円 (H30)	2,546 万円	2,985 万円	2,823 万円	3,467 万円 ※2,823 万円から 目標値を 引き上げ	1 生産施設の拡大及び体験受入の 体制強化 ・採かん施設の改修及び新規結晶ハウスの整備の検 討 ・県版HACCP新第2ステージの認 証取得 2 販路開拓・販売促進 ・商談会への出展 ・連携事業者との協働による商品 開発 3 人材確保 ・製塩作業を実践しながら人材 (担い手)の育成	1 生産施設の拡大及び体験受入の体制強化 ・採かん施設の改修及び新規結晶ハウスの整備の検 討 (R4 県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用) 2 販路開拓・販売促進 ・商品開発 (宗田節燻製クリスプ(ゆず塩味)、くろしおくんパッケージ の天日塩の限定販売、ドトールふわりカステラ) 3 人材確保 ・正社員候補として、R3年5月よりアルバイト(1名)雇用	2,980万円 (R3.3月～R4.2月) ・R3目標達成率:105.6% ・対前年比:99.8%	A	(成果) ・当初設定したR5年度の目標 (2,823万円)を達成 (課題) ・需要に対し生産量が不足 ・販路拡大 (今後の方向性) ・施設の改築・増築 ・商談会等への参加	3,261 万円	1 生産施設の拡大及び体験受入の体制 強化 ・採かん施設の改築及び結晶ハウスの増築 (県産業振興推進総合支援事業費補 助金の活用) ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 (R5) 2 販路開拓・販売促進 ・商談会への出展 ・関連事業者との連携強化 ・連携事業者との新商品開発 3 人材確保 ・1名アルバイトから正社員へ変更
商工業	31 黒潮町産天日塩の 販売拡大及び地域ブラン ド化の推進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・土佐のあまみ屋、 ・黒潮町商工会	売上高 2,442 万円 (R元)	2,442 万円	2,593 万円	2,503 万円	3,743 万円	1 生産体制の強化 ・新規採かん施設の整備検討 ・人材確保・育成 2 販売拡大 ・食品加工業者との連携による加工 品開発、販売 3 地域ブランド化の推進 ・黒潮町産天日塩の地域ブランド化 の推進	1 生産体制の強化 ・採かん施設の増築及び結晶箱の増設の検 討 (R4 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用) 2 販売拡大 ・オンラインショップ開設(R3.2月) ・黒潮町ふるさと納税返礼品登録(R3.9月) ・連携事業者による新商品の発売 3 地域ブランド化の推進 ・黒潮町商工会による町内5事業者への呼びかけを実施	2,859万円 (R3.1月～12月) ・R3目標達成率:114.2% ・対前年比:110.3%	S	(成果) ・ネットショップ開設など新たな試みに より売上増加 (課題) ・需要に対し生産量が不足 (今後の方向性) ・製塩設備の整備(増築等) ・販売拡大	2,632 万円	1 生産体制の強化 ・採かん施設の増築及び結晶箱の増設 (県産業振興推進総合支援事業費補 助金の申請中) ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 (R5) 2 販売拡大 ・他事業者との関係性強化による商品開発 ・商談会への参加 3 地域ブランド化の推進 ・黒潮町商工会による働きかけを継続

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出发点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
観光	35 幡多広域における 滞在型・体験型観光の 推進 (幡多地域全域) 【実施主体】 ◎・(一社) 幡多広域 観光協議会 ※地域産業クラスター関 連(土佐清水メジカ産業 クラスタープロジェクト、宿 毛・大月養殖ビジネス高 度化クラスタープロジェク ト)	延べ 宿泊者数 398,797 人 (H30)	416,420 人	319,790 人	425,000 人	443,000 人	1 商品造成・誘客促進 ・商品化及び商品化支援による地域の 魅力創出の推進 ・旅行会社等へのセールスの推進 2 広報PR ・ブランド形成による地域認知度向上 の推進 ・マーケティングに基づくプロモーション の推進	1 商品造成・誘客促進 ・商品化及び商品化支援による地域の魅力創出の推進 欧米豪向け四万十川流域アクティビティ商品の造成 シンガポール、マレーシアを対象としたオンラインツアーの開催 ENJOY!はた旅クーポンⅡ SDGs を切り口にした周遊観光商品づくり ・旅行会社等へのセールスの推進 【教育旅行】 旅行会社セールス(山陽、関西、関東) 受入状況 県内・県外校:51校 取消・中止:80校、下見対応:10校 【団体旅行】 旅行会社セールス(東京ほか11件) 2 広報PR ・ブランド形成による地域認知度の向上 観光PRと物販(兵庫) ・マーケティングデータに基づくプロモーション 【市場調査】 主要宿泊施設利用者アンケート調査の実施・分析(通年) はた旅体験利用者アンケート調査の実施・分析(通年) 【プロモーション】 HP、Facebook、インスタグラムを活用した情報発信 マスメディアを活用した情報発信 旅番組制作、観光経済新聞広告 旅行会社、観光・交通拠点を活用した情報発信	330,712人 (R3.4月～R4.3月) ・R3目標達成率:77.8% ・対前年比:103.4%	C (成果) ・「第17回エコツーリズム大賞 特 別賞」を受賞 ・観光庁の「日本版持続可能な観 光ガイドライン(JSTS-D)」の認証 ラベル・ロゴマークの使用許可を取得 (全国で10番目、四国で2番目) (課題) ・誘客促進の取り組みの強化 ・関係団体と連携した組織機能の 強化 (今後の方向性) ・アフターコロナに向けた国・県の事業 との連携 ・ICTを活用した観光誘客の推進	434,000 人	1 商品造成・誘客促進 ・商品化及び商品化支援による地域の 魅力創出の推進 ・旅行会社等へのセールスの推進 (関東、関西、中国地方へ) ・教育旅行向け「観光×SDGs」商品の 造成及び販売 2 広報PR ・ブランド形成による地域認知度向上の 推進 ・マーケティングに基づくプロモーションの 推進 3 組織体制の強化 ・来訪者満足度を向上するための地域 受入態勢整備を推進	
							外国人 延べ 宿泊者数 12,101人 (H30)	13,458 人	2,121 人		14,000 人		15,400 人
観光	36 幡多広域におけるス ポーツツーリズムを核とし た交流人口の拡大と地 域の活性化 (幡多地域全体) 【実施主体】 ◎・(一社) 幡多広域 観光協議会 ・幡多6市町村及び 観光協会	延べ 宿泊者数 11,964 人 (H30)	11,773 人	4,840 人	15,000 人	15,000 人	1 受入体制の整備 ・受入体制の充実・強化 2 誘客促進の取り組み ・PR・セールスプロモーション活動	1 受入体制の整備 ・新型コロナウイルス感染症対策の受入運営ガイドライン の作成と更新 ・サッカー大会等の開催及び合宿の受入 黒潮カツオCUP-少年- BlueWave ユースカップ-高等学校- ゴルフ合宿(高校、大学)(2件) サッカー強化合宿-中・高等学校- 高知ユニテッドスポーツクラブキャンプ 高知ファイティングドックスキャンプ 2 誘客の促進 ・県内外の誘致活動 県内高等学校、中学校への誘致活動(6月) 北陸、関東、東海、関西、中国、四国地方への誘致 活動(10月～12月) ・砂浜トレーニングのプログラム作成(R4.3月末) (満足度向上のため、AIカメラを購入)	7,708人 (R3.4月～R4.3月) ・R3目標達成率:51.4% ・対前年比:159.3% ※コロナ禍による大幅な交流 人口の減少から回復傾向 にある	D (成果) ・感染症対策受入ガイドラインの更新 ・砂浜トレーニングプログラムの作成 ・宿泊者アンケートによると、地域の受 入環境は好評 (課題) ・感染症対策の徹底 ・関係団体との連携強化 ・受入体制の充実 ・施設等のPR (今後の方向性) ・受入運営ガイドラインの徹底 ・市町村との連携強化 ・集落活動センターとの連携 ・プロモーションの継続 ・砂浜トレーニングのブラッシュアップ	15,000 人	1 受入体制の整備 ・受入体制の充実・強化 受入ガイドラインの普及、徹底 市町村、集落活動センター等との連携 2 誘客促進の取り組み ・PR・セールスプロモーション活動 人工芝など施設のPR 砂浜トレーニングのブラッシュアップ、 PR	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	37 宿毛市の地域資源を活用した観光振興 (宿毛市) 【実施主体】 ・(一社)宿毛市観光協会 ・宿毛市 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	市内の延べ宿泊客数 9.1万人(H30)	8.6万人	7.1万人	9.4万人	9.85万人	1 地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ、推進体制の強化 ・プロモーション活動の強化 ・県市の人材育成制度の活用 2 誘客促進の取り組み ・広域観光組織と連携した誘客促進 ・各種イベントや企画展の実施	1 地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ、推進体制の強化 ・道の駅「すくもサニーサイドパーク」の実施設計(観光振興推進総合支援事業費補助金の活用) 2 誘客促進の取り組み ・電動レンタサイクルの追加導入 5台 ・サイクリングツアーの実施 3回 ・RIDE&EAT! ・横瀬川ダムクライングウォール体験の実施 4回 ・「まちのえき林邸」各種展示会、ワークショップ開催 6回 ・釣りイベントの実施 1回(三市町合同グレ釣りダービー) ・SNSフォトコンテストの実施 ・自転車愛好家向けフリーペーパーの発行 ・高知ユニテッドSCの試合に合わせて「スポカフェ」実施 3回 ・宇須々木戦争遺跡ガイドツアーの実施	8.0万人(R3.1月～12月) ・R3目標達成率：84.6% ・対前年比：112.4%	C	(成果) ・各種体験プログラムの企画・実施 ・道の駅の実施設計完了 (課題) ・関係団体等と連携した体験メニュー磨き上げ ・広域的な周遊観光に向けた取り組み (今後の方向性) ・ガイドツアーの磨き上げ ・道の駅を核とした周遊観光の検討	9.4万人	1 地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ、推進体制の強化 ・関係団体と連携した体験型プログラム造成 ・プロモーション活動の強化 ・道の駅の改修工事 2 誘客促進の取り組み ・広域観光組織と連携した誘客促進 ・ファンライド「四国西南・無限大ライド」開催(6月) ・JCL(ジャパンサイクルリーグ)プロロードレースの開催 ・ライドイベントの開催
観光	38 電串地域の観光再生構想の推進 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・土佐清水市 ・電串海洋観光クラスター推進協議会 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・(特非)NPO電串観光振興会 ・観光事業者 ・ガイド団体 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	入込客数 8.7万人(H30)	8.8万人	19.2万人	12.5万人	17万人	1 新たな観光施設を核とした、事業者間連携による誘客の仕組みづくり ・季節ごとのイベントの実施 ・周辺の事業者と連携した取組 2 地域でのクラスター形成を促進する事業者間連携 ・電串海洋観光クラスター推進協議会を通じた事業者間の連携の促進 3 電串地域利用計画の推進 ・東側駐車上第2期工事 ・旧足摺海洋館撤去、駐車場整備 ・レスト電串跡地利用 実施設計	1 新たな観光施設を核とした、事業者間連携による誘客の仕組みづくり ・インバウンド対応勉強会(9回) ・誘客イベントの企画、実施(計7回) 足摺海洋館SATOUMI GWイベント 桜浜海開き 足摺海洋館SATOUMI 1st ARIGATO FESTA ジョン万ウォーキング 海底館50周年記念式典 あしうわ50周年イヤーぐるっと電串開幕イベント 電串奇岩フェスティバル、観光開き 2 地域でのクラスター形成を促進する事業者間連携 ・電串の観光を考える会 計3回 ・観光コンシェルジュのスキルアップ研修 計3回(産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用) 3 電串地域利用計画の推進 ・海ギャラテラス完成(3月) ・電串東側駐車場整備(繰越) ・足摺海洋館駐車場完成(10月) ・ウエストパーク(レスト電串跡地)実施設計完了	18.5万人(R3.1月～12月) ・R3目標達成率：148.0% ・対前年比：96.4%	S	(成果) ・各種イベントの開催等による入込の増加 (課題) ・事業者間の連携強化 周辺施設への誘導促進 ジオツアーの実施 ・事業者のスキルアップ、人材育成 体験プログラムの造成など ・昼食の場の提供 (今後の方向性) ・継続的な人材育成 ・道の駅めじかの里土佐清水の改修 食堂メニューの検討 ・周遊手段(トゥクトゥク)の導入	14.7万人	1 事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり ・電串の観光を考える会における検討 ・各種イベントの企画、開催 2 電串地域利用計画の推進 ・電串東側駐車場の整備 ・トゥクトゥク導入 ・ウエストパーク整備工事 3 道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進 ・施設の改修(県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用) ・連携協議会の開催 事業者間連携の強化

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
観光	39 土佐清水まるごと戦略観光の展開 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・土佐清水市 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・土佐清水ジオパーク推進協議会 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	入込客数	66.5 万人	63.0 万人	70.0 万人	75.0 万人	1 誘客の促進 ・Meji-ca旅行券事業の開始 ・各種イベントの開催 【通年】ワーケーションの推進 2 推進体制の強化 ・観光事業者や環境協会職員のスキルアップ ・唐人駄場や足摺岬など観光資源の磨き上げ ・足摺エリア利用計画の策定 3 日本ジオパークネットワーク加盟 によるさらなる誘客促進 ・ジオパークネットワークへの加盟申請	1 誘客の促進 ・Meji-ca旅行券事業 ジョン万トラベルキャンペーンの実施 ・Meji-ca号(ツアーバス)の運行(10~2月) ・誘客イベント等の開催(計6件実施、計4件中止) ジョン万海の元気まつり あしずりまつり(中止) 足摺きり(中止) あしずり光の岬イルミネーションナイト ジョン万Xmasナイト オンライン体験事業 ジョン万ウォーク(中止) 全国カツオまつりサミット、宗田節まつり、産業祭の開催 クイズノックコラボ宿泊促進企画モニターツアー 椿まつり(中止) ・テレビ番組でのPR 2 推進体制の強化 ・足摺岬展望施設等整備計画の推進 住民説明会の開催(計3回) 3 日本ジオパークネットワーク加盟 によるさらなる誘客促進 ・日本ジオパーク加盟認定(R3.9月) ・土佐清水ジオパーク基本計画のための検討会開催	56.2万人 (R3.1月~12月) ・R3目標達成率:80.3% ・対前年比:89.2%	C	(成果) ・日本ジオパーク認定 ・足摺岬展望台等改修計画の策定 ・足摺半島の地域のホテルの改修 (課題) ・さらなる誘客、宿泊の促進 ・日本ジオパーク認定を活かし、地域資源のさらなる磨き上げ (今後の方向性) ・宿泊促進に向けたツアー等の造成 ・土佐清水ジオパーク基本計画の策定 ・国立公園50周年とあわせたイベント等の企画	72.0 万人	1 誘客の促進 ・クイズノックコラボ宿泊促進事業の実施 ・各種イベントの開催 国立公園50周年記念事業など 2 推進体制の強化 ・足摺岬エリア利用計画の推進 3 日本ジオパークネットワーク加盟 によるさらなる誘客促進 ・基本計画の策定(4月) ・審査における指摘事項への対応 サイト案内板の整備など ・ジオツアーの造成、ジオガイドの養成
集落活動センター	44 集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興 (三原村) 【実施主体】 ◎・(一社)三原村集落活動センターやまびこ ・農事組合法人三原やまびこ	売上高	1,525 万円	1,634 万円	1,600 万円	1,700 万円	1 新商品開発及び販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・酒類通信販売業免許の取得 ・ふるさと納税寄付額向上に向けた取り組み強化 2 一次産業の振興 ・ブランド米へのにがりの試用 ・ししとう栽培の黒枯れ病、斑点病対策	1 新商品開発及び販売促進 ・イベントへの参加 れんけいこうちTSUNAGUマーケットなど 計3回 ・商談会への参加 高知県産品商談会など 計3回 ・ふるさと納税寄付額向上に向けた取り組み強化 ふるさと納税プロジェクトチームの立ち上げ 事例視察(四万十市観光協会) ・販売促進アドバイザーの招聘 ネット販売の強化 米のブランド化及び販路拡大 ・酒類通信販売業免許の取得 ・ANA高知家応援キャンペーンの景品への「水源のしずく」採用 2 一次産業の振興 ・ブランド米へにがり(土佐のあまみ屋)を試験的に活用 ・小型精米機の導入 ・米・食味分析鑑定コンクール出品 ・真空パック米を自社包装に切り替え ・農村RMOの推進・検討 説明会開催	1,687万円 (R3.4月~R4.3月) ・R3目標達成率:105.5% ・対前年比:103.3%	A	(成果) ・商談件数8件、成約件数2件 ・ふるさと納税寄付額の増加(3月時点、対前年比126%) ・ししとう販売パック数10万パック (課題) ・コロナ禍による販促活動の縮小 ・事務局の人員不足 ・ブランド米栽培田土壌の栄養不足 ・農事組合法人三原やまびこの後継者不足 (今後の方向性) ・ネット販売及びふるさと納税に関する取り組みの強化 ・ブランド米の品質向上 土壌改良に向けた取組強化	1,700 万円	1 新商品開発及び販売促進 ・イベントへの参加 ひろめ市場(9月) ・商談会への参加 土佐の宴in大阪(9月) 土佐の宴in名古屋(11月) ・Webマーケティングの強化 2 一次産業の振興 ・ブランド米の土壌改良 ・農村RMO形成支援事業の活用

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化（土佐清水市） 8/13 当初交付決定 12/13 変更交付決定</p>	<p>宗田節等の丸節増産体制等の整備（焼津式乾燥機等の整備）</p>	<p>33,085（15,038）</p>

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	取り組み状況		
農 業	農 業	No.16 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	宿毛市の主要農産物である文旦等の柑橘類とイチゴの生産拡大を核に、食品加工、観光などと連携して産業クラスター化を図り、地域の活性化を目指す。	これまでの取り組み（R元～R3）	イチゴの生産拡大等に関しては、H31.4月、「スタートアグリカルチャーすくも（公社）」を設立し、県の補助を活用して2名雇用するとともに、アドバイザーを招聘、研修生3名の体制で営農を開始した。その後、R3.3月 研修生1名が就農、残る2名も6月に就農したところであり、R4.4月現在は、2名の研修生を受け入れている。 商品開発、販路拡大に関しては、R1.7月に、ふるさと納税返礼品として、「冷凍イチゴ」「イチゴジャム」が採用されるとともに、農家や飲食店とイチゴを使った商品開発について協議を行ってきた。 文旦、直七等の柑橘類については、市内の洋菓子店、カフェ等が参加して、「すくも文旦フェア2020」、「直七フェア」を開催するなど、文旦、直七のブランド化、商品開発等の取り組みを実施している。 これらの作物に加え、R3年度は、フィンガーライムの出荷が始まった。新型コロナウイルス感染症の影響でオーストラリアから苗木が輸入できない状況にあるが、接ぎ木の研修を行うなど、栽培面積の拡大に向け取り組んでいる。 こうした取り組みに加え、就農相談イベントに参加するなど、新規就農者の確保についても、取り組みを継続している。	
		関連する地域 AP		No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	R4年度の計画	イチゴ・柑橘のブランド化の推進及び加工品の開発・販売の強化に取り組むこととし、「スタートアグリカルチャーすくも（公社）」の研修生の確保や新規就農者のための農地確保を行う。
		幅 多		No.17 宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト	県内屈指の生産量を誇る宿毛湾の養殖業を核に、生産者はもとより養殖業に直接関わる餌や種苗の販売事業者に加え、流通・加工・販売関連の事業者、さらに飲食や観光など地域の賑わいを支えている事業者などが有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取り組み（H28～R3）
水産業	関連する地域 AP	No.7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売 No.8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売（ほか）	R4年度の計画	高知道水の国内外への販路開拓支援及びマグロの産地としての認知度向上に向けたマグロ解体実演販売のイベント等の実施。		
水産業	水産業	No.18 土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト	地域の基幹産業であるメジカ加工業を核に、漁業者から飲食・観光を含めた産業クラスターの川上から川下に至る各業種が有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取り組み（H28～R3）	加工用原魚の安定確保、作業の効率化を図るため、クラスターの核となる水産加工施設（冷凍保管施設、残渣処理施設、共同加工施設）が完成した。（H29～R3）。 また、土佐清水食品（株）ではメジカを原材料とした新商品「スープロス（簡単和風だしスープ）」の製造ラインの整備が完了し、R3.10月から本格的な操業を開始したところであり、オンラインでの商談等により、販路拡大に取り組んでいる。また、（有）ヤマアでは、地域初の焼津式焙乾設備を導入し（R3.12月）し、丸節の生産拡大を図ったところであり、積極的に商談会等に参加している。 こうしたハード整備と併せて、宗田節のブランド化、認知度向上にも取り組んでいるところである。 プロモーションの一環でロゴマークを作成し、PR資材や宗田節商品に掲載するとともに、宗田節ロードスタンプラリーや宗田節まつりの開催など、様々な誘客促進の取り組みを行っているところである。 また、（株）たけまさ商店では、R3.3月に節納屋体験観光の拠点施設が完成し、団体客をはじめオンラインを活用した体験事業について、取り組みを開始した。	
		関連する地域 AP		No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 No.15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進（ほか）	R4年度の計画	共同加工施設の効率的な運営と、「スープロス」の販売に合わせた宗田節のプロモーションの強化。